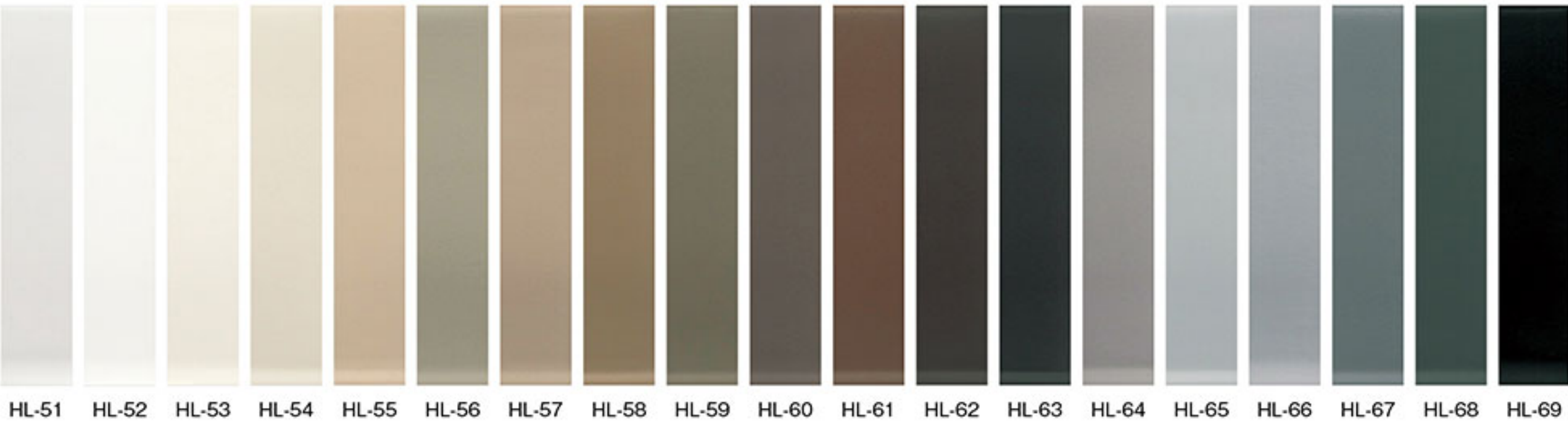


リリカラソフト巾木

豊富なカラーバリエーション19色！



	高さ	長さ	価格	タイプ	品 番																		
					HL-51	HL-52	HL-53	HL-54	HL-55	HL-56	HL-57	HL-58	HL-59	HL-60	HL-61	HL-62	HL-63	HL-64	HL-65	HL-66	HL-67	HL-68	HL-69
ソフト巾木	60mm	909mm	6,600円 25枚入り	Rアリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				Rナシ	△	△	●	△	△	△	△	△	△	△	△	●	●	△	△	△	●	△	△
	75mm	909mm	7,050円 25枚入り	Rアリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				Rナシ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

●印は常備在庫品、△印は受注生産品です。(12ケース以上／1色、納期は、受注後約3～4週間)

取り扱いについて

- 下地
- 下地は湿気のない平坦で堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。
- のりつけ
- 接着剤はリリカラ巾木糊エコをご使用ください。5mmピッチのクシ目ゴテを使用し、均一に塗布してください。
- 壁紙の上には貼らないでください。壁紙と重なる時は重なりが10mm以下になるように壁紙をカットしてください。
重なり部分が多すぎると接着不良や反りが発生する可能性があります。
- ゴム系溶剤形接着剤は、出隅、入隅以外では使用しないでください。巾木の縮みや接着不良をまねく可能性があります。
- メンテナンス
- 床のメンテナンス時に、ワックスなどが巾木に付着しますと汚染の原因となりますのでご注意ください。
- 巾木の素材による固有の臭いがありますので換気をお願いします。
- 水、紫外線、重量物、汚染物質、化学薬品の影響で、巾木自体の変質、変退色や施工後のはがれ、反り、突き上げ、目地すきなどがおこる可能性があります。
施工、メンテナンスには充分ご注意ください。

リリカラ接着剤

タイプ	水性形接着剤			
	合成ゴム系ラテックス形			
品名	リリカラCF糊		リリカラ巾木糊エコ	
荷姿				
品番	91333	91334	91337	91338
容量	18kg	4kg	9kg	3kg
標準施工可能面積	約 55㎡	約 12㎡	約 27㎡	約 9㎡
適用工法	一般工法		一般工法	
適用下地	セメント系モルタル、コンクリート、コンパネ下地、乾燥下地（水分指標 8% 以下）		セメント系モルタル、コンクリート、コンパネ・石膏ボード下地	
オープンタイム	20℃ 0 ～ 10 分		-	
貼付可能時間	20℃ 5 ～ 60 分		20℃ 5 ～ 20 分	
ホルムアルデヒド放散区分	JIS F☆☆☆☆		JIS F☆☆☆☆	

旧らくらく → 新らくらく 品番対照表

15らくらく	185らくらく	18Vウォール	16ライト	15らくらく	185らくらく	18Vウォール	16ライト	15らくらく	185らくらく	18Vウォール	16ライト
LRP-73001			LL-8322	LRP-73038		LV-1374	LL-8212	LRP-73069	LRP-73143		
LRP-73002			LL-8323	LRP-73040	LRP-73107	LV-1421		LRP-73070	LRP-73144		
LRP-73003	LRP-73169	LV-1103	LL-8334	LRP-73041	LRP-73101	LV-1391	LL-8176	LRP-73071	LRP-73145		
LRP-73004		LV-1117	LL-8337	LRP-73042	LRP-73102	LV-1394		LRP-73073	LRP-73146		
LRP-73008			LL-8320	LRP-73043		LV-1399	LL-8247	LRP-73075	LRP-73147		
LRP-73009			LL-8321	LRP-73044	LRP-73105	LV-1423		LRP-73076	LRP-73148		
LRP-73013	LRP-73185	LV-1133		LRP-73045	LRP-73106	LV-1403	LL-8251	LRP-73079	LRP-73153		
LRP-73014		LV-1131	LL-8331	LRP-73046	LRP-73108	LV-1409	LL-8263	LRP-73081	LRP-73154		
LRP-73021	LRP-73176	LV-1033	LL-8364	LRP-73047		LV-1410	LL-8264	LRP-73082	LRP-73164	LV-1565	LL-8474
LRP-73022	LRP-73115	LV-1455	LL-8382	LRP-73048			LL-8255	LRP-73083	LRP-73165	LV-1564	LL-8475
LRP-73023	LRP-73116	LV-1456	LL-8383	LRP-73049	LRP-73109	LV-1411	LL-8265	LRP-73084		LV-1563	
LRP-73024			LL-8385	LRP-73050	LRP-73121	LV-1340	LL-8245	LRP-73085	LRP-73160	LV-1591	LL-8469
LRP-73025		LV-1458	LL-8386	LRP-73051		LV-1341	LL-8246	LRP-73086	LRP-73159	LV-1590	LL-8468
LRP-73026		LV-1459	LL-8387	LRP-73052			LL-8197	LRP-73087	LRP-73161	LV-1570	LL-8470
LRP-73027		LV-1461		LRP-73053	LRP-73120	LV-1427		LRP-73088	LRP-73162	LV-1571	LL-8471
LRP-73028	LRP-73119	LV-1462	LL-8389	LRP-73054		LV-1443	LL-8393	LRP-73089	LRP-73155	LV-1598	LL-8482
LRP-73029		LV-1291		LRP-73055		LV-1444		LRP-73090	LRP-73156	LV-1599	LL-8483
LRP-73030		LV-1290		LRP-73056		LV-1449	LL-8396	LRP-73091	LRP-73157	LV-1602	LL-8486
LRP-73031		LV-1317	LL-8164	LRP-73057		LV-1452	LL-8398	LRP-73092		LV-1595	LL-8476
LRP-73032	LRP-73132	LV-1348	LL-8170	LRP-73058			LL-8400	LRP-73093		LV-1596	LL-8477
LRP-73033		LV-1132		LRP-73059			LL-8401	LRP-73094		LV-1597	LL-8478
LRP-73034			LL-8324	LRP-73060		LV-1467	LL-8402	LRP-73095	LRP-73188	LV-1196	LL-8296
LRP-73035	LRP-73180	LV-1130	LL-8330	LRP-73061		LV-1468	LL-8403	LRP-73096	LRP-73190	LV-1197	LL-8297
LRP-73036		LV-1039	LL-8325	LRP-73063	LRP-73137			LRP-73097			LL-8298
LRP-73037	LRP-73163	LV-1568		LRP-73064	LRP-73138			LRP-73098			LL-8299
								LRP-73099	LRP-73200	LV-1191	LL-8291
								LRP-73100		LV-1227	LL-8314

※上記にない『15らくらく』品番の商品は廃番となります。

壁紙の品質規格と安全性

全商品がJIS規格品であり、シックハウス対策建築基準法の規制を受けない「F☆☆☆☆」ですから、安心してご使用いただけます。ホルムアルデヒドだけでなく VOC や重金属などを規制した SV 規格にも全商品が適合しています。

JIS規格(JIS A 6921)

- JIS: Japanese Industrial Standards(日本工業規格)
- 日本の工業製品の品質安定を目的とした工業標準化法に基づき制定された国家規格です。

項目NO.	試験項目			規格値
1	退色性(号)			4以上
2	摩擦色落ち度 (級)	乾燥摩擦	縦・横	4以上
		湿潤摩擦	縦・横	4以上
3	隠ぺい性(級)			3以上
4	施工性			浮き及びはがれがあってはならない
5	湿潤強度(N/1.5cm)		縦・横	5.0以上
6	ホルムアルデヒド放散量(mg/L)			0.2以下

SV規格(壁紙製品標準規格)

- SV: Standard Value(標準規格)
- 快適・健康・安全に配慮した製品を供給することを目的として壁紙工業会によって制定された自主規格です。

項目NO.	試験項目		規格値
1~6	項目NO.1~6はJIS規格と同じ		
7	重金属	砒素 (mg/kg)	5以下
		鉛 (mg/kg)	30以下
		カドミウム (mg/kg)	5以下
		クロム (mg/kg)	20以下
		水銀 (mg/kg)	2以下
8	塩化ビニルモノマー (mg/kg)		0.1以下
9	残留VOC	TVOC (μg/g)	100以下
		TEX芳香族 (μg/g)	10以下

(使用原材料)

10	安定剤	鉛、カドミウム、有機スズを含有する安定剤は使用しない。
11	可塑剤	沸点が300℃以上の難揮発性可塑剤を使用する。ただしDBPIは使用しない。
12	発泡剤	フルオロカーボン類は使用しない。
13	溶剤	TEX(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)は使用しない。

- 上表は、各規格の規定内容を簡略化して一覧にしたものです。項目1~6は、両規格とも同じです。
- SV規格は、JISの基本品質に、より安全性を考慮して重金属やVOCなどの規定が加えられています。
- JIS規格・SV規格の内容は、社会情勢の変化によって随時改定されます。
- SV規格の詳細につきましては壁紙工業会ホームページ(<http://www.svkkaku.gr.jp>)をご参照ください。

壁紙価格表

■品質規格：JIS、SV、F☆☆☆☆ ■材料区分：塩化ビニル系樹脂壁紙

品 番		単位	価格 (円)	m ² 価格 (円)	機能性			規 格	リピート		防火 種別	下地別の防火性能(直張り施工)		
					防 か び	抗 菌	その他 機能性		↑タテ (cm)	↔ヨコ (cm)		不燃材料 不燃石膏ボード	準不燃材料	金属板
織物調	LRP-73101～73103	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73104	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73105	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0815	準不燃QM-0815	—
	LRP-73106	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73107	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73108	m	1,100	1,200	○		トップコート	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73109	m	1,100	1,200	○		トップコート	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73110・73111	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	16.5	23	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73112～73114	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73115～73119	m	1,100	1,200	○		クリーンコート 表面強化	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
石目調	LRP-73120	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73121	m	1,100	1,200	○		トップコート	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73122～73124	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73125	m	1,100	1,200	○			巾92.5cm切売可	35	92.5	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73126～73128	m	1,100	1,200	○			巾92.5cm切売可	40.3	92.5	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73129	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73130・73131	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	32	30.8	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73132	m	1,100	1,200	○			巾92cm切売可	32	46.2	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73133・73134	m	1,100	1,200	○			巾92.5cm切売可	32	46.3	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73135・73136	m	1,100	1,200	○		トップコート	巾92cm切売可	21	30.8	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
汚れ防止	LRP-73137・73138	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73139・73140	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73141・73142	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73143・73144	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73145・73146	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73147・73148	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73149	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾93cm切売可	29.5	31	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73150	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾93cm切売可	31.2	46.5	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73151	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73152	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾93cm切売可	29.5	46.5	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73153	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾92.5cm切売可	32.1	46.3	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
	LRP-73154	m	1,100	1,200	○	○	汚れ防止	巾92cm切売可	32.1	46	2-3	準不燃QM-0804	準不燃QM-0804	—
消臭	LRP-73155	m	1,100	1,200	○	○	消臭 通気性 透湿性	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0815	準不燃QM-0815	—
	LRP-73156	m	1,100	1,200	○	○	消臭 通気性 透湿性	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0815	準不燃QM-0815	—
	LRP-73157	m	1,100	1,200	○	○	消臭 通気性 透湿性	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0815	準不燃QM-0815	—
	LRP-73158	m	1,100	1,200	○	○	消臭	巾92.5cm切売可	30.6	46.3	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73159・73160	m	1,100	1,200	○	○	消臭	巾92cm切売可	31.2	46.2	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73161・73162	m	1,100	1,200	○	○	消臭	巾92cm切売可	21.4	23.1	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73163	m	1,100	1,200	○	○	消臭	巾92cm切売可	21.4	13.2	2-3	準不燃QM-0815	準不燃QM-0815	—
	LRP-73164	m	1,100	1,200	○	○	消臭	巾92cm切売可	32.1	46	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73165	m	1,100	1,200	○	○	消臭	巾92cm切売可	32.1	46	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—

※表示価格は商品価格であり、施工代や消費税は含みません。

壁紙価格表

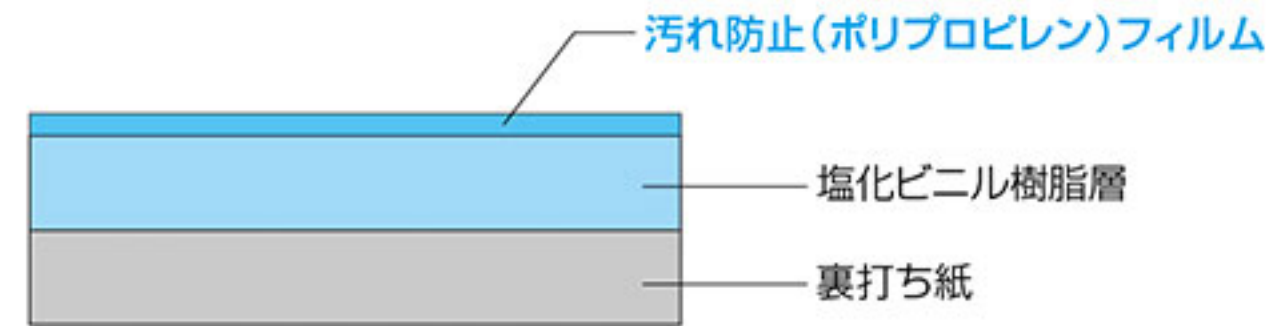
■品質規格：JIS、SV、F☆☆☆☆ ■材料区分：塩化ビニル系樹脂壁紙

品 番	単位	価格 (円)	m ² 価格 (円)	機能性			規 格	リピー ト		防火 種別	下地別の防火性能(直張り施工)		
				防 か び	抗 菌	その他 機能性		↑タテ (cm)	↔ヨコ (cm)		不燃材料 不燃石膏ボード	準不燃材料	金属板
パ タ ー ン	LRP-73166	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	32	92	2-3	準不燃QM-0815	準不燃QM-0815	—
	LRP-73167・73168	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	16	23.2	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73169	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	32	30.7	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73170	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	32.1	92	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73171	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	32	23.2	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73172	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	21.4	18.4	2-3	準不燃QM-0815	準不燃QM-0815	—
	LRP-73173	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	32	30.9	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73174	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	9.1	9.2	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73175	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	32	92.5	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73176	m	1,100	1,200	○	トップコート	巾92.5cm切売可	32	23.1	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73177	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	32	92.5	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73178	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	32	92.5	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73179	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	32	46.3	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73180	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	32	92	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73181・73182	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	1.6	1.5	2-3	準不燃QM-0815	準不燃QM-0815	—
	LRP-73183・73184	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	—	9.2	2-3	準不燃QM-0815	準不燃QM-0815	—
	LRP-73185	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	21.3	18.4	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73186・73187	m	1,100	1,200	○	トップコート	巾92.5cm切売可	—	30.9	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
和 調	LRP-73188～73190	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	32.1	46.3	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—
	LRP-73191・73192	m	1,100	1,200	○	トップコート	巾92.5cm切売可	32.1	30.8	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73193・73194	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	32	30.9	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73195・73196	m	1,100	1,200	○	トップコート	巾92cm切売可	—	—	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73197・73198	m	1,100	1,200	○		巾92.5cm切売可	21.4	46.3	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73199	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	32.1	46	2-3	準不燃QM-0803	準不燃QM-0803	—
	LRP-73200	m	1,100	1,200	○		巾92cm切売可	32.1	92	2-3	準不燃QM-0814	準不燃QM-0814	—

汚れ防止

表面にPP(ポリプロピレン)フィルムをラミネートした、水汚れに特に強い壁紙です。

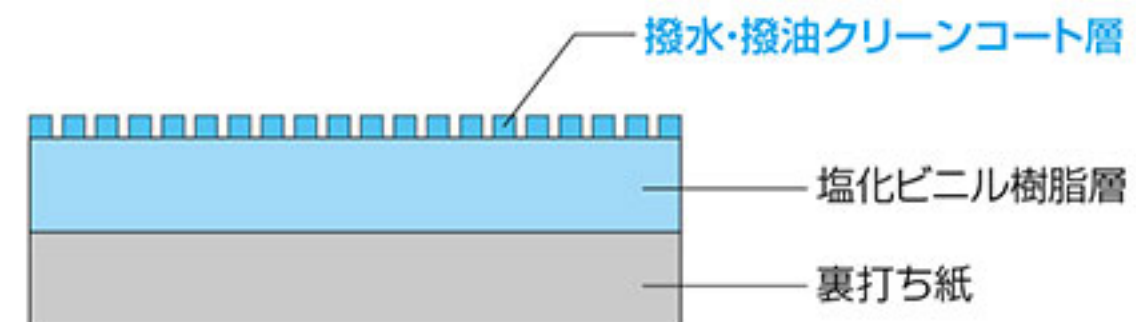
- ・表面にポリプロピレン製のフィルム膜がありますので、コートタイプに比べ汚れが浸透しにくく落としやすい特長があります。
- ・ポリプロピレン樹脂はシャンプー容器によく使われるように、特に水汚れに強い性質があります。



クリーンコート

表面に撥水・撥油性の樹脂をコートした壁紙です。

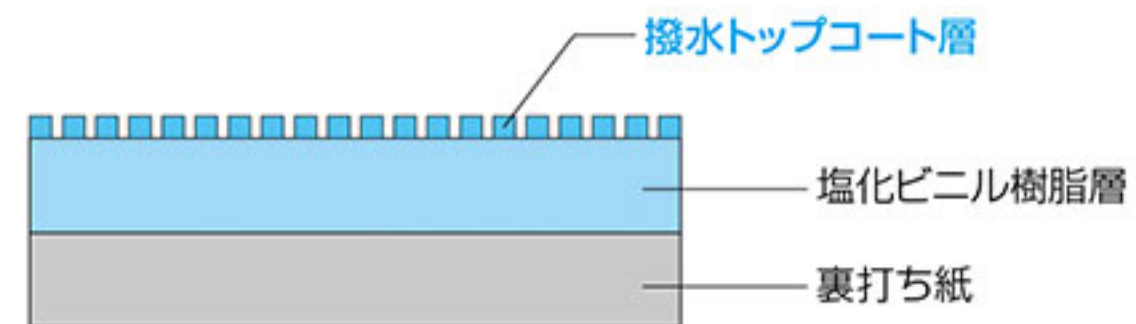
- ・汚れ拭き取り性能は汚れ防止壁紙の次に優れていますが、汚れ防止壁紙の方が比較的簡単に落とすことができます。
- ・汚れ落ち性能を重視する場合は、フィルム加工された「汚れ防止」壁紙をご使用ください。



トップコート

表面に撥水性の樹脂をコートした壁紙です。

- ・軽い水汚れは、付着してすぐなら拭き取ることができます。
- ・一般ビニル壁紙に比べ汚れにくくなっていますが、「汚れ防止」「クリーンコート」に比べ劣ります。
- ・汚れ落ち性能を重視する場合は、フィルム加工された「汚れ防止」壁紙をご使用ください。



■汚れ落ち性能

優 ← → 劣

汚れの種類	拭き取り剤	汚れ防止壁紙 (PP フィルム)	クリーンコート壁紙 (撥水・撥油)	トップコート壁紙 (撥水)	一般ビニル壁紙
コーヒー	水	◎	○～◎	△	△～×
しょうゆ	水	◎	○～◎	○	△～×
水性ペン	中性洗剤	◎	○～◎	○	△～×
クレヨン	中性洗剤	○	△～○	△	×
油性マジック	アルコール	×	△～×	×	××

■使用上のご注意

- ・汚れを拭き取る際は、かたく絞ったスポンジやタオルなどで水拭きしてください。
- ・落としにくい場合は中性洗剤を使用し、できるだけ柔らかい歯ブラシなどで泡立てながら落してください。
- ・強くこすると汚れが広がって拭き取りづらくなったり、表面が破損する場合があります。
- ・洗剤の拭き残しは変色の原因になります。拭き掃除が終わり次第、必ずきれいな真水かぬるま湯で洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ・何度も拭き取ることによって目に見えない微細な傷がつき、次第に汚れ落ち性能は低下してきます。お含みおきください。
- ・「クリーンコート」「トップコート」の表面コート層は、汚れ防止のような完全な膜ではなく、細かい点の集合体になっているため、時間の経過と共に壁紙内部に汚れが浸透しやすい傾向があります。汚れが乾く前にティッシュペーパーやスポンジなどで軽くたたきながら汚れを吸い込ませるように拭き取ってください。
- ・油性マジックや少しずつ蓄積していく油やタバコのヤニなどのしつこい汚れを除去することは困難です。
- ・汚れは長期間放置すると取れなくなります。汚れがついたらすぐ対処し、できるだけ汚れがつかないように心がけましょう。
- ・貼り合わせ部分に水が入るとハガレの原因になりますので、汚れを拭き取る際はご注意ください。

光触媒と消臭剤のハイブリッドで、消臭効果を発揮する壁紙です。

●光触媒と消臭剤のハイブリッド！

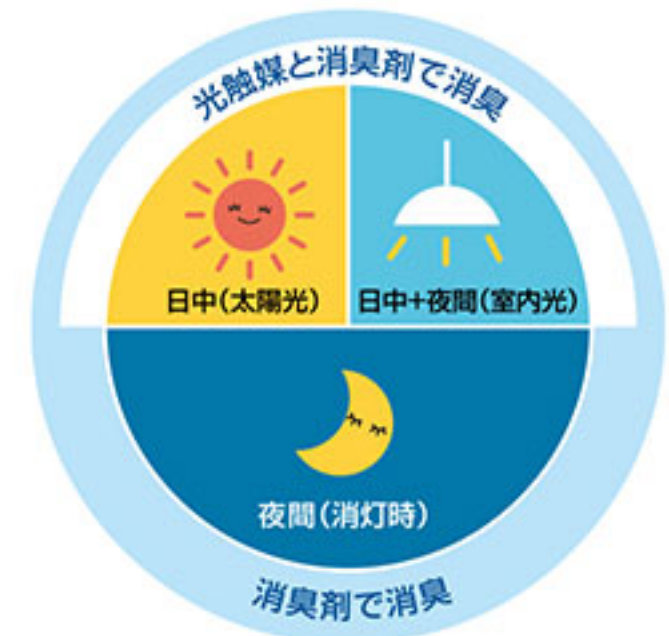
- …光触媒反応により悪臭を消臭
- …消臭剤により光のない夜間でも悪臭を消臭

●光触媒によるサイクル消臭は、長期間持続します。

●様々な悪臭を消臭！

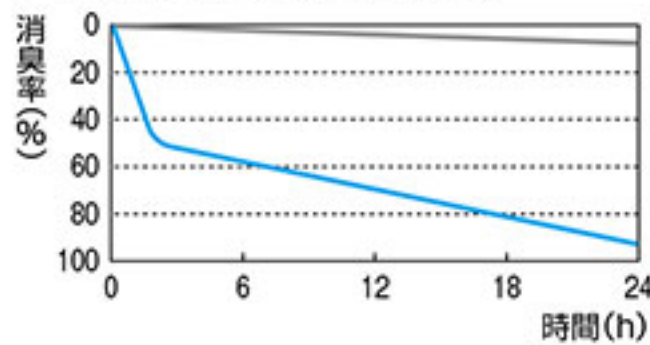
- ・ペットの臭い、トイレの臭い(アンモニア・硫化水素)
- ・汗の臭い(アンモニア・酢酸)
- ・生ゴミなどの生活悪臭(アンモニア・硫化水素・トリメチルアミン・メチルメルカプタン)
- ・タバコの臭い(アセトアルデヒド・酢酸・硫化水素・ピリジン)
- ・新築・リフォーム時の建材臭(ホルムアルデヒド)

air*refre

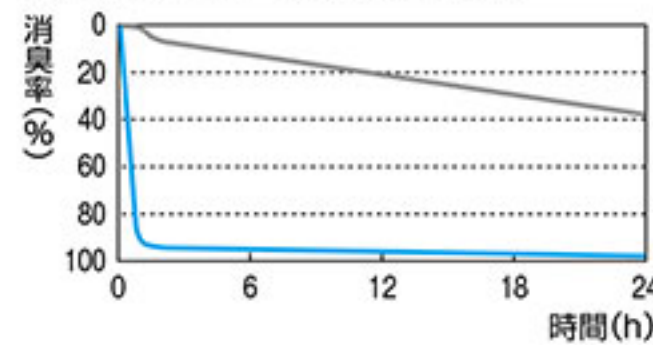


■消臭性能

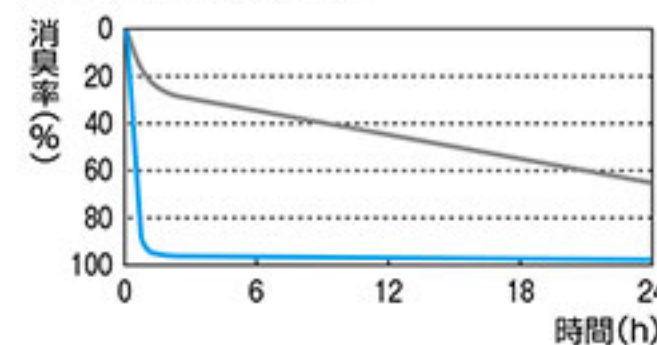
アセトアルデヒド(初期濃度:14ppm)



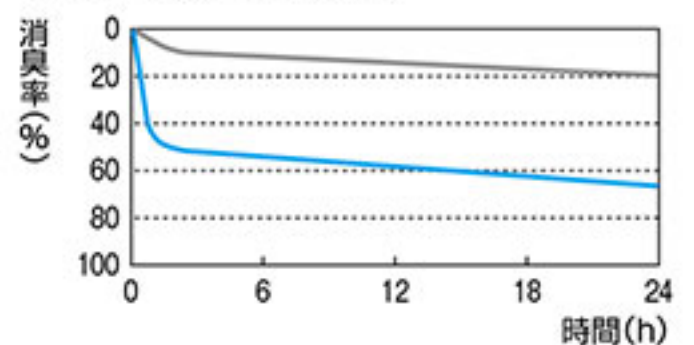
ホルムアルデヒド(初期濃度:80ppm)



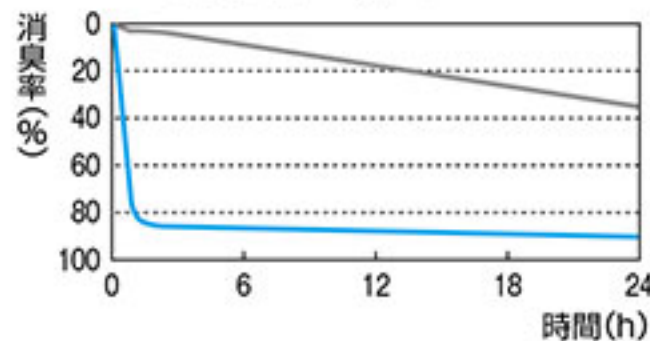
酢酸(初期濃度:100ppm)



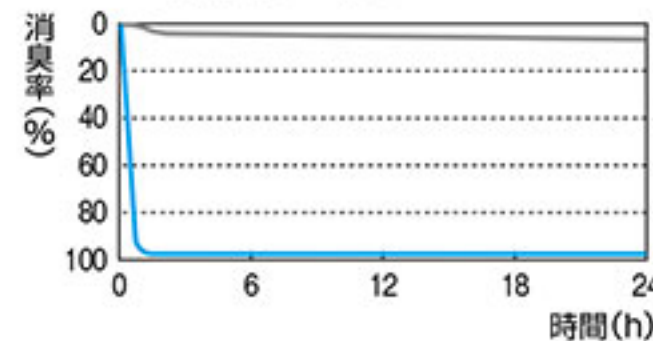
ピリジン(初期濃度:10ppm)



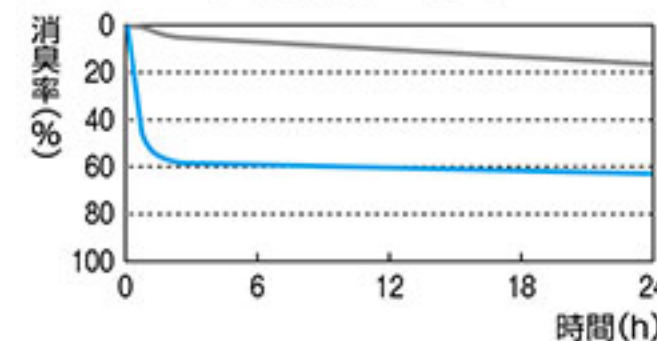
アンモニア(初期濃度:200ppm)



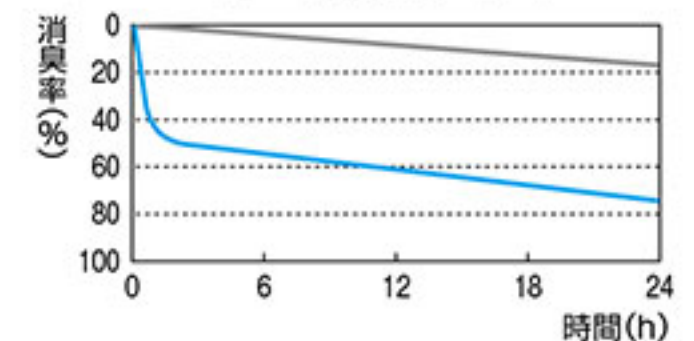
硫化水素(初期濃度:30ppm)



トリメチルアミン(初期濃度:60ppm)



メチルメルカプタン(初期濃度:30ppm)

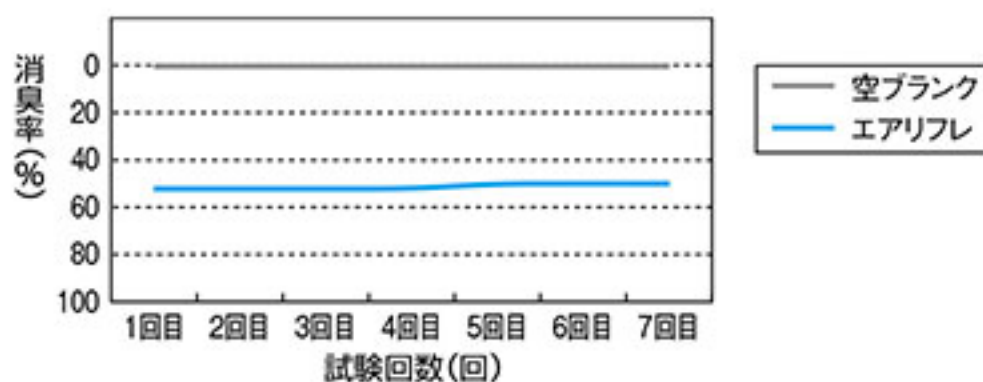


《試験方法》

蛍光灯照射下、壁紙サンプルを容器に入れ各悪臭成分を注入。所定時間後、各悪臭成分の残存ガス濃度を測定。比較対象として、サンプルを入れず空(グラフ中は空ブランクと表示)で悪臭成分を測定。

■サイクル消臭性能

サイクル消臭試験は、消臭試験を繰り返し、消臭性能がどれくらい持続するかを確認する試験です。エアリフレは消臭試験を繰り返しても性能を維持していることが確認できます。



《試験方法》

蛍光灯照射下、壁紙サンプルを容器に入れ悪臭成分(アセトアルデヒド)を注入。所定時間後、各悪臭成分の残存ガス濃度を測定。この操作を数回繰り返す。

■使用上のご注意

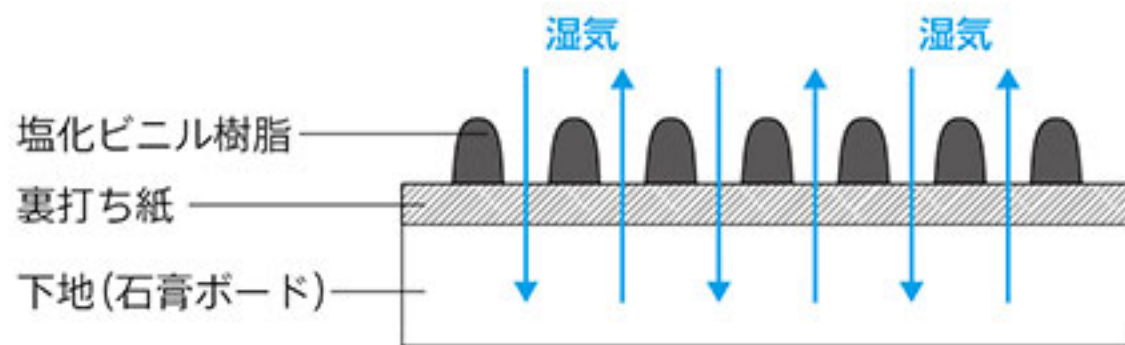
- ・消臭機能は臭いを完全になくすことを保証するものではありません。臭いの感じ方には個人差があり、効果は環境によって異なります。
- ・光触媒による消臭機能の持続性は理論的には半永久的ですが、汚れの付着等により効果が低減する可能性があります。
- ・時々ハタキをかけたり、電気掃除機などでホコリを吸い取るなどのメンテナンスを行ないながら、美観維持のためにも5～10年位での張替えをおすすめします。

通気性・透湿性

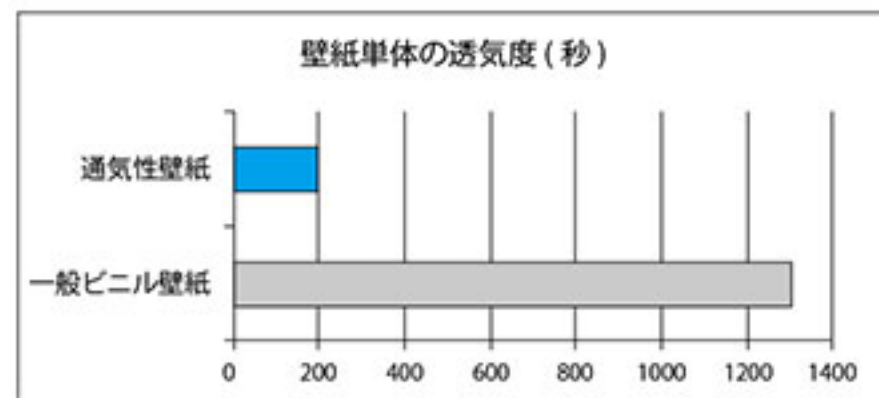
空気や湿気を通し、下地との組合せで調湿効果を発揮する壁紙です。

■通気性(透湿性)壁紙の構造(イメージ図)

空気や湿気を通すため、石膏ボードへ施工することで湿気を吸収・放出します。特に、調湿石膏ボードに施工することで、より大きな効果が期待できます。

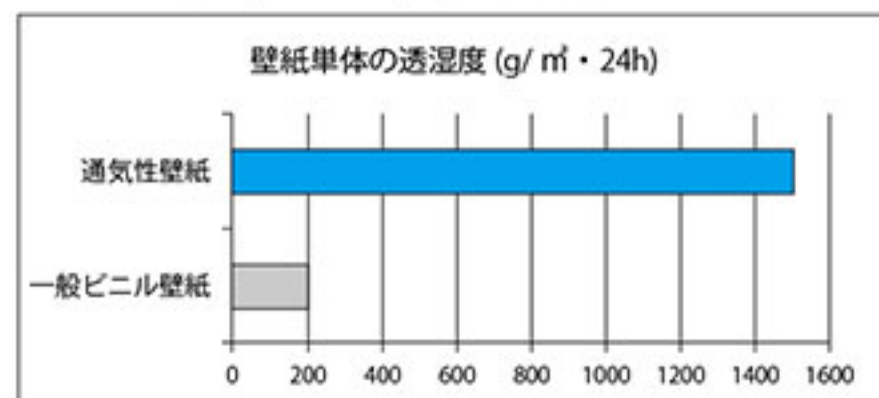


■通気性(透気度)試験結果



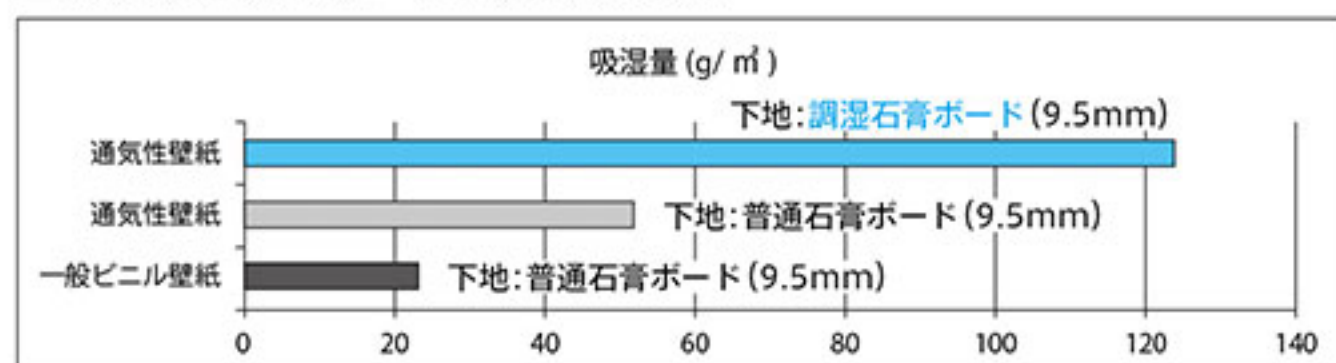
一定量の空気が壁紙を通り抜けた時間を測定したもので、**数値が小さいほど通気性が高い**ことを示します。
《透気度試験方法:JIS P 8117》

■透湿性(透湿度)試験結果



24時間に壁紙を通り抜けた水蒸気量を測定したもので、**数値が大きいほど透湿性が高い**ことを示します。
《透湿度試験方法:JIS Z 0208 B法》

■吸湿量(壁紙+下地)試験結果



通気性壁紙を調湿石膏ボード下地に施工すると、調湿効果が飛躍的にアップします。
《試験方法:室温25℃で、湿度50%から90%に加湿し24時間後の増加質量を測定》

■吸放湿性を活かす組み合わせ

下表は、壁・天井面に使用する壁紙と下地の組み合わせによる吸放湿量(想定値)を表したものです。開口部を差し引いた6畳間の施工面積を想定したもので、壁面を24m²、天井面を9m²とし、それぞれの最大吸放湿量から算出しました。壁紙の種類だけでなく、下地との組み合わせによっても大きく異なりますので、ご参考にしてください。

●壁紙と下地の組み合わせによる吸放湿量

壁面 (24m²)			天井面 (9m²)			部屋の合計 吸放湿量
壁紙	下地	吸放湿量	壁紙	下地	吸放湿量	
通気性	調湿	2,976	通気性	調湿	1,116	4,092
通気性	普通	1,248	通気性	普通	468	1,716
ビニル	普通	552	ビニル	普通	207	759

(吸放湿量:g)

通気性：通気性壁紙

ビニル：一般ビニル壁紙

調湿：調湿石膏ボード(9.5mm厚)

普通：普通石膏ボード(9.5mm厚)



●部屋の合計吸放湿量を200ccのコップに換算

部屋の合計吸放湿量(g)	200ccのコップに換算(杯)
4,092	20.5
1,716	8.6
759	3.8

※上記は、壁紙と施工下地によって部屋全体の調湿効果が大きく異なることを示すために、m²当たりの吸湿量から算出した想定値であり、保証値ではありません。

■使用上のご注意

- ・吸放湿性による調湿機能は、除湿機とは異なり、あくまでも補助的な役割にすぎません。常に換気を心がけ、通風を良くし、湿度の上昇を抑えるようご配慮ください。また、効果は環境や気候などの条件によっても変わります。
- ・過度に湿気が多く、湿気が逃げない場所に吸湿性の高い壁紙を使用すると、水分を吸い込んだままいつまでも湿った状態となってかびを発生させる場合もありますので、ご注意ください。
- ・結露を抑えるには、壁紙だけでなく、建物の構造や設備、換気や住まい方など複合的な対策が必要です。

表面強化

引っかきキズがつきにくい、強度に優れた壁紙です。

■表面強化性能試験結果

壁紙の種類	表面強化性能
表面強化壁紙	4～5級
一般ビニル壁紙	1～3級

《試験方法》

壁紙工業会制定「表面強化壁紙性能規定」に準拠。学振型摩擦試験機に指定のステンレス製ツメを取り付け、200gの荷重で壁紙表面を5往復し、表面の傷つき具合を評価する。

《判定基準》

◆4級以上を「表面強化」とする。

5級：一見視で特に変化が見られない

4級：多少表面傷が見られるが、比較的大きな表面層の破れ等は見られない

3級：表面層の破れが明確に見える

2級：表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm未満）

1級：表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ1cm以上）

《表面強化壁紙》



《一般ビニル壁紙》



■使用上のご注意

キズに強い特長がありますが、引っかきなどのキズによる破損が発生しないことを保証するものではありません。また、破損が生じない場合でも、引っかきなどにより表面にツヤ差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

抗菌

壁紙の表面に付着した細菌の繁殖を抑制します。

■抗菌性能試験結果

抗菌壁紙は、試験後の生菌数が「0.63未満」の性能を有しています。

試験菌	試験開始時の生菌数(個/cm ²)	試験後の生菌数(個/cm ²)
大腸菌	6.2×10 ³ ～2.5×10 ⁴	0.63未満
黄色ブドウ球菌	6.2×10 ³ ～2.5×10 ⁴	0.63未満

《試験方法》

壁紙工業会制定「抗菌壁紙性能規定」に準拠。

壁紙の表面に試験菌液を滴下し、温度35±1℃、湿度90%以上で24±1時間培養。その後の生菌数を測定。

■使用上のご注意

- ・抗菌性の壁紙は、これを使用することによって掃除の必要がなくなるというものではありません。より清潔に保つための手段とお考えください。
- ・抗菌性壁紙の抗菌効果は、壁紙に付着した細菌の増殖を抑制するものであり、感染を直接阻止するものではありません。

防かび

かびの発生と繁殖を抑制します。

■防かび性能試験結果

防かび壁紙は、下表の「0」の性能を有しています。

菌糸の発育	結果の表示
肉眼及び顕微鏡下でかびの発育は認められない	0
肉眼ではかびの発育が認められないが、顕微鏡下では明らかに確認できる	1
肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の25%未満	2
肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の25%以上～50%未満	3
菌糸はよく発育し、発育部分の面積は試料の全面積の50%以上	4
菌糸の発育は激しく、試料全面を覆っている	5

《試験方法》

壁紙工業会制定「防かび壁紙性能規定」に準拠。かびを壁紙表面に付着させ、4週間培養。

その後壁紙表面に生じたかびの発育状況を肉眼と顕微鏡で確認し判断する。

■使用上のご注意

- ・防かび壁紙だけでかびの発生を防ぐことは不可能です。かびは住宅の構造や生活環境に大きく影響を受けます。室内の湿度調整のため、常に換気を心がけてください。湿気を低く抑えることがかびを発生させない一番有効な手段です。
- ・なるべく発生させないような対策を講じる必要がありますが、すでに発生しているところに施工する場合は、完全に除菌、殺菌してから施工してください。中途半端な除菌では簡単にかびの再発生をゆるす結果となります。
- ・特に防かび性が要求される場所には、防かび性接着剤の使用が効果的です。

メンテナンスと快適な住まい

壁紙は色や柄などの意匠性を重視した化粧仕上げ材ですから、コンクリートなど他の建材と異なり、10～20年といった長期間にわたる維持は期待できません。したがって、ある程度の期間はメンテナンスを行ない、次いで張り替えるという使い方が、壁紙の価値を活かす最適の方法です。壁紙は室内のホコリや油汚れ・手垢などにより自然と徐々に汚れていきます。仕上がりの美しさを維持していただくためにも、使用上の注意とメンテナンスにご配慮ください。壁紙の耐用年数は、使い方次第で大きく異なってくるものです。

一般的注意事項

1. 入居後は、まず換気を

施工時の臭いが残っている場合がありますので、入居後一週間程度は十分に換気を行ってください。



2. 直射日光からの保護

直射日光が当たると、紫外線により色褪せがしやすくなります。部屋を使用していないときは、カーテンやブラインドを活用し、直射日光を避けるよう心がけてください。

3. 高温・熱風を避ける



ストーブなど暖房器具の熱風が直接壁紙に当たらないようにしてください。また、キッチンのレンジやダウンライトのすぐ近くなど、高温になる場所への使用は避けてください。熱により壁紙が変形、変色することがあります。

4. 粘着テープを貼らない

粘着テープ（セロハンテープやガムテープなど）を壁紙に貼らないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また、粘着テープを剥がす時に壁紙が破損することがあります。



5. 薬品や化粧品などを付着させない

スプレー式の薬品、殺虫剤、化粧品を壁紙に吹き付けしないでください。壁紙が変色することがあります。



6. 家具を壁面に密着させない

家具の塗料に含まれる色素やベニヤの色素により、壁紙が変色することがあります。家具と壁紙の間は空間の余裕をとってください。空間を設けることは、変色だけでなく結露やカビの予防にもなります。

7. 室内空気の汚れについて

室内空気の汚れ（ホコリ、タバコ、キッチンからの油煙など）は、壁紙を短時間で黄変させてしまいます。特に壁紙のジョイント部は、壁裏面との通気口となりやすく、壁紙表面と比較し空気の流れが集中するため汚れが目立つ場合があります。できるだけ室内の換気を心がけてください。



部分的な剥がれのメンテナンス

時間の経過と共に部分的な剥がれが生じる場合があります。きれいに補修するコツはできるだけ早く対処することです。剥がれてから時間が経ったものや、劣化して固くなったものは補修が困難になります。

剥がれが広がる前に下地の汚れを取り去り、木工用水性接着剤など強めの接着剤を壁紙裏面に塗り付け、十分圧着してください。特に部屋のコーナー部、サッシや水のかかりやすい洗面台の周囲、通気の悪い箇所などは注意しておきましょう。このような場所には、あらかじめコークボンドで枠回りをコーキングしておけば、ある程度剥がれを防ぐことができます。



ホコリや汚れ

ホコリは、時々ハタキをかけたり、電気掃除機などで吸い取ってください。不要になったストッキングを細長い棒に巻きつけて、静電気でホコリを吸い取る方法も効果的です。ホコリや汚れを放置しておきますと、湿気や油分を吸って取りにくくなりますので、長時間放置しないようにご注意ください。汚れは多種多様なものがあり、種類や放置時間によって除去できない場合があります。

● 汚れが付着したら《一般ビニル壁紙の場合》

ビニル製の壁紙は、一般的に吸湿性や通気性がほとんどないので、シミやホコリには強く、手垢や油汚れには比較的弱いというのが特徴です。数ある壁紙の素材の中でもメンテナンス性に優れた部類にあり、軽い汚れなら水拭きや洗剤で落とすことができます。但し、表面にフィルム加工された汚れ防止壁紙と異なり、クレヨンや水性ペンなどの頑固な汚れは落とせません。

飲食物や調味料などの水汚れは、直ちにしっかりと絞ったスポンジやタオルで汚れを吸い取るように拭き取ってください。最初から強くこすると、汚れが染み込んだり広がる場合がありますので注意しましょう。落ちにくい場合には中性洗剤をご使用ください。出来るだけ早急に対処することが汚れを落とすコツです。拭き掃除が終わりましたら、必ず真水かぬるま湯で洗剤が残らないようきれいに拭き取ってください。洗剤の拭き残しは変色の原因になります。



※強い洗剤やシンナーなどの有機溶剤は、変色や表面破損の原因になりますので使用しないでください。

※張り合わせ部分に水が入ると剥がれの原因になりますのでご注意ください。

※壁紙を拭く場合はあまり強くこすらないでください。壁紙表面が破損することがあります。

● 汚れが付着したら《汚れ防止壁紙の場合》

「汚れ防止」壁紙は、表面のフィルム加工により壁紙内部に汚れが浸透しにくく、汚れが拭き取りやすくなっています。日常生活の一般的な汚れ・飲食物の汚れなら水や中性洗剤で落とせます。

日常生活の汚れは、しっかりと絞ったスポンジやタオルで水拭きしてください。落ちにくい場合は中性洗剤をご使用ください。歯ブラシでこするとより効果的です。

強い洗剤や溶剤の種類によっては変色を起こすことがありますので、念のためあらかじめ目立たないところで試してからにしましょう。壁紙表面に残った洗剤は変色の原因になりますので、真水かぬるま湯できれいに拭き取ってください。

※張り合わせ部分に水が入ると剥がれの原因になりますのでご注意ください。

※表面のフィルムが破損すると、その部分の汚れ防止機能は失われます。拭き取る場合はできるだけ柔らかい布やブラシなどをご使用ください。また、何度も拭き取ることによって目に見えない微細な傷がつき、次第に汚れ防止性能は低下していきます。あらかじめご了承ください。

※汚れ防止機能は、突発的な飲食物の付着や落書きをすぐ拭き取るには適していますが、タバコのヤニのように少しずつ蓄積していくしつこい汚れを完全に除去することは困難です。できるだけ換気を行い、汚れが付かないよう心がけましょう。



カビ

カビは見た目の悪さの問題だけでなく、アレルギーや喘息など、病気の原因になることがありますので注意が必要です。カビの発生や繁殖を抑制する「防かび」壁紙もありますが、壁紙単体でカビの発生を防ぐことは不可能です。カビは住宅の構造や生活環境に大きく影響を受けます。常に換気を心がけ、通風を良くし、湿度の上昇をおさえてください。

● カビが発生したら…

カビが発生してしまった場合は、ハウスクリーニング会社などにご相談ください。

結露

結露や過度の湿気は、シミ・剥がれ・カビの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心がけてください。

● 換気・除湿を行なう

常に換気を心がけ、発生した水蒸気を外へ排出してください。特に浴室や料理時の水蒸気などは換気扇を利用して排出してください。除湿器、吸湿剤などを活用し、余分な水蒸気を除去することも有効です。

● 通気をよくする

家具裏などの隙間に余裕を取り、家全体の空気の流れをよくする工夫をしてください。

● 冬の結露について

室内と外気の温度差が激しい冬は結露しやすい時期です。加湿器を使用した後は特に結露しやすくなります。換気や除湿に十分に注意しましょう。外に面した室内の壁が異常に結露する場合は、断熱材の不足や不備、建物自体の構造の問題が考えられますので、早めに対処しましょう。

取り扱い上のご注意～施工要領

選択上のご注意

1. 防火性について

建築物の内装仕上げは、建築基準法により防火上の基準が定められており、建築物の用途や規模・構造に応じて防火材料の使用が義務づけられています。壁紙の防火性能は、下地基材や施工方法との組合せによって決まりますので、事前に必ずご確認ください。

2. 見本・サンプル・写真について

製造ロットの違いにより、見本やサンプル帳と実際の商品が若干異なる場合があります。ご了承ください。

3. 商品の仕様変更・供給について

改良その他の事情により、予告なく仕様変更を行なうことがあります。また、生産中止などにより供給不能となる場合があります。あらかじめご了承ください。

4. 施工費について

商品や現場の状況によって施工費が割増になる場合があります。「汚れ防止」「表面強化」「製品厚が薄い商品」「表面がフラットな商品」など、下地処理や施工に手間がかかる商品群です。あらかじめご確認の上、商品選択をお願い致します。

5. 壁紙商品の特性について

ビニル壁紙などは、リピート表示のない商品でも基本的にある単位の同じ柄の繰り返しで出来ています。特にエンボス加工品は、見る角度や光の当たり方によって微妙な凹凸の繰り返しが目立つ場合があります。これはエンボスロール製造上の特徴であり、現在の技術では完全に防ぐことはできません。

また、特にフラットな商品や横方向のテクスチャーの商品などはジョイント部が比較的目立ちやすい傾向にあります。これは塗装とは異なり、つなぎ合わせて施工する壁紙である限り避けることのできない商品特性です。あらかじめご了承ください。

施工上のご注意

1. ロット違い商品について

ロット違いの商品には、色差などが生じる場合があります。同一ロット品をご使用ください。できれば一巻きの至近の箇所同士を張り合わせてください。

2. 保管はタテ置きで

商品はタテ置きで保管してください。ヨコ積みや井桁積みは置き跡がつきやすく、光沢差やエンボスつぶれの原因となります。

下地の調整

1. 下地と同色のパテを使用

必ず下地と同色のパテをご使用ください。下地と異なる色のパテを使用しますと、施工後、下地の色が透けて見える場合があります。また、下地からの影響を防ぐためにも文字や汚れはきれいに処理してください。

2. きれいな仕上がりは平滑な下地から

施工後の不陸を防ぐため、下地は平滑に仕上げてください。また、ネジ・クギ類は施工後の変色を避けるため、突起を完全に沈め、サビ止めをしてください。

3. 下地や状況に応じたシーラー処理を

ペンキ・コンクリート・モルタル・木質系下地の場合は、それぞれ専用のシーラーで必ず下地処理をしてください。特にベニヤなどの木質系下地に直接施工した場合、時間がたつとシミや変色の原因になります。シーラーは接着不良や変色を防ぎ、リフォーム時に剥がしやすくなります。

4. 下地は乾燥させてから

コンクリートやモルタルなどの湿式下地、およびシーラー、パテを施した箇所は十分に乾燥(目安として水分率11%以下)してから施工を開始してください。乾燥が不十分な場合、壁紙の変色・剥がれ・カビが発生することがあります。

5. オイルステインなどの下地は避ける

オイルステイン、ニスなどを使用している下地や近接した場所への施工は避けてください。変色の原因になります。

6. カビが発生している場合

張り替え時、下地にカビが発生している場合は、十分にカビを殺菌し、乾燥させてから施工してください。

7. 浮いた裏打紙の処理

張り替え時、下地面に残った裏打紙(残紙)は剥がしてから施工してください。残紙が浮いたまま施工しますと目隙などの原因になりますのでご注意ください。

施工糊と施工環境について

1. 施工環境に合わせた準備を

冬期など低温時には壁紙が硬くなり施工しにくくなる傾向があります。状況に合わせて接着剤の配合やうませ時間を調整したり、部屋を暖めるなどの配慮をお願いします。特に5℃以下の環境では糊の接着力が弱く、施工不良の原因になりますので、施工糊の注意事項を必ず守ってください。

2. 糊付後の注意点

壁紙の品種や室内環境に応じて、適切なオープンタイムを取ってください。施工を容易にするとともに、フクレの発生を防ぎます。また、壁紙をきつく折り畳んだり、湾曲部に荷重がかからないようにしてください。折れジワが発生し、元に戻らない場合があります。

張り付け

1. 有効巾について

壁紙は必ず有効巾でご使用ください。重ねしろは有効巾に含みません。有効巾を超えた使用は、左右色違いの原因となります。

2. 柄合わせマークの確認

柄合わせを要する商品は、柄合わせマーク同士を目安に、柄を確認しながら施工してください。柄合わせの必要な商品は、サンプル帳に「リピート」を表示しています。特にステップ柄合わせは、一般的な平行合わせとは合わせ方が異なりますので、ご注意ください。(商品特性上、左右の柄合わせマーク位置の僅かなズレや柄合わせマークがない場合があります。ご了承ください。)

3. ジョイント位置について

ジョイント位置は、端部同士で施工してください。両端部と中央部では、色差が生じる場合があります。また、張り残しや部分補修に残材を使う場合は、色違いが起きやすいので天地・左右を十分に確認の上、施工してください。窓の上下など一部だけを横張りにしたり、他の部分と不調和なはぎ合わせをすると、色違いを生じますので、必ず同じ方向で張ってください。

4. ジョイント部のカットについて

ジョイント部をカットする際は、目隙を防ぐため、必ずカッターの刃をまっすぐに入れてください。また、地べらを使った重ね切りは避け、定規をご使用ください。地べらを使うと切り口が斜めになり目隙の原因になります。

5. 三巾ほど施工した時点で状態を確認

商品検査には十分配慮しておりますが、念のため三巾ほど施工した時点で問題のないことをご確認ください。明らかに製品に欠陥があると判断された場合には、ただちに作業を中断し当社までご連絡頂けますようお願い申し上げます。三巾以降相当量の作業を進行した場合、施工費賠償の請求、商品の返品等は原則としてお受けいたしかねますのでご了承ください。

6. 入隅の処理は建物の構造に適した方法を

ボードやパネル下地の継ぎ目をまたいで壁紙を施工すると、入隅にフクレやよじれ・割れなどが発生する場合があります。これは、建物の構造上継ぎ目が振動の逃げ場になっているためで、避けることは出来ません。ましてや下地の動きを壁紙で防ぐことは不可能です。できるだけ入隅で壁紙をジョイントすることをおすすめします。

養生

1. 粘着性の強い養生テープは使用しない

粘着性の強いマスキングテープの使用は避けてください。テープの粘着剤が壁紙に固着し、変色や汚れの原因になります。また、テープを剥がす時に壁紙表面が破損する恐れがあります。

2. 付着した糊や汚れの処理

壁紙の表面や廻り縁などに糊、汚れなどがつかないように十分注意して施工してください。付着してしまった場合は、きれいな水を含ませた布で直ちに拭き取ってください。特に濃色の壁紙の場合は、やさしく丁寧に拭き取った後、乾拭きせずに自然乾燥させてください。乾拭きで強くこすると傷や白化が起きやすくなります。また、糊が付着したまま放置すると、カビや変色の原因になります。

廃棄上のご注意

1. 残材を焼却しない

ビニル壁紙の残材やサンプル帳を焼却しないでください。燃やすと塩化水素ガスなどが発生し、目・粘膜などを刺激しますのでご注意ください。

2. 壁紙の残材は適切な廃棄処理を

壁紙の残材やカタログを処理する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。少量の残材を一般廃棄物（家庭ゴミ）として処理する場合は、市町村条例に基づき処分してください。なお、業者の方が廃棄する場合には産業廃棄物となりますのでご注意ください。

汚れ防止(LRP-73137～73154)の施工要領

壁紙表面に、ポリプロピレン製の汚れ防止フィルムをラミネートした商品です。一般ビニルに比べやや硬くカールしやすい傾向があり、寒冷時には出入隅部の収まりが悪くなることがあります。フィルムによるツヤがありますので、光の加減で下地が見えやすくなる天井には不向きです。あらかじめご了承ください。

●低温時は室内を暖めて

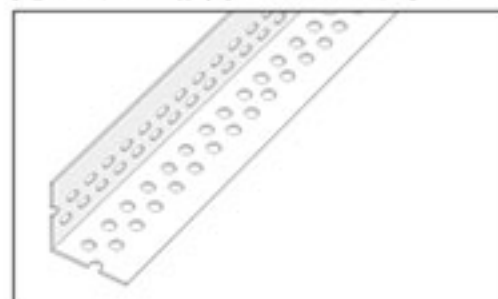
5℃以下の環境では糊の接着力が弱くなり、フクレや施工不良の原因となります。また、壁紙自体も硬くなりますので、施工効率が下がります。できるだけ室内を暖めて、壁紙を馴染ませ柔らかくしてから施工してください。

●モルタル下地にはシーラー処理を

アクによる変色やフクレを防ぐため、必ずシーラー処理を行ってください。特に低温時にはフクレがおきやすくなりますのでご注意ください。

●下地コーナー材は穴あきタイプを

下地コーナー材は、穴あきタイプが有効です。穴あきタイプ以外では接着剤が乾燥せず、壁紙が浮いたり、カビ発生の原因となる場合があります。ただし、穴あきタイプをご使用の場合でも使用環境や施工状況によっては、壁紙の浮きやカビが発生する場合があります。あらかじめご了承ください。



穴あきコーナー材



一般的なコーナー材

●張り付け時のカール癖

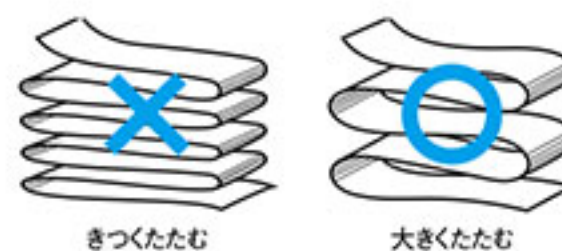
一般ビニル壁紙に比べやや硬くカール癖がつきやすい傾向があります。特に巻き芯に近い部分や寒冷時には、材料を逆巻きにするなどカール癖をとってから施工してください。収まりが悪い場合は、ジョイント部や出入隅部にエチレン酢ビ系ボンドを原液で捨て糊するなどの処置を施してください。

●接着剤とオープンタイム

接着剤は、濃い目（6～7割希釈）のものにエチレン酢ビ系ボンドを10～20%程度混合してください。接着剤塗布後はうませ時間を20～30分程度とってください。寒冷時には後伸びによるフクレを防ぐため少し長めにとってください。

●糊付け後のたたみ方、養生時のポイント

接着剤塗布後は大きいたたみ、上積みを行ってください。フィルムが折れてたたみジワが発生する場合があります。



きつたたみ

大きいたたみ



たたみジワに注意し、重ね置きを可能にするため、一度たたんだものを丸める「丸め置き」をおすすめします。

●なで付け注意

特に、モルタル下地ではプラスチック製のヘラを使用し、ていねいに繰り返してエア抜きを行ってください。

●糊の拭き残し

施工後は接着剤の拭き残しがないよう、きれいに拭き取ってください。拭き取りが不十分な場合、変色の原因になることがあります。なお、拭き取る際は、きれいな水に頻繁に替えながら濡れスポンジなどでていねいに拭き取り、更にきれいなタオルなどで拭き取ってください。

